

1. 施設の運転期間

	第1工場1号炉	第2工場1号炉	第2工場2号炉
運転期間	5/1~31	5/1~31	5/1~8、29~31

2. 廃棄物の処理状況

	第1工場1号炉	第2工場1号炉	第2工場2号炉	合計
一般廃棄物 (t)	4,159.7	3,759.2	1,213.6	9,132.5

3. 設備にたい積したばいじんの除去を行った日

【実施頻度：施設停止中に随時】

	第1工場1号炉	第2工場1号炉	第2工場2号炉
温度調節器	—	—	—
集じん機	—	—	—
触媒脱硝装置	—	—	—

4. 施設の運転に係るデータ（連続測定値）

	第1工場1号炉	第2工場1号炉	第2工場2号炉	維持管理基準
燃焼ガス温度 ※1 (°C)	917	875	820	800°C以上
集じん機前ガス温度 ※1 (°C)	150	147	147	概ね200°C以下
排ガス中のCO濃度 ※1, 2 (ppm)	10	14	49	100ppm以下

5. 排ガス中のばい煙測定結果

【測定頻度：2か月に1度】

	第1工場1号炉	第2工場1号炉	第2工場2号炉	排出基準
測定位置	煙突測定口	—	—	/
測定日	5/22	—	—	
測定結果が得られた日	6/5	—	—	
ばいじん ※2 (g/Nm <sup>3</sup> )	<0.001	—	—	0.08
硫黄酸化物 (Nm <sup>3</sup> /h)	0.0040	—	—	第一工場：12.389 第二工場：12.186
窒素酸化物 ※2 (ppm)	29	—	—	250
塩化水素 ※2 (mg/Nm <sup>3</sup> )	<0.7	—	—	700

6. 排ガス中のダイオキシン類測定結果

【測定頻度：1年に1度】

	第1工場1号炉	第2工場1号炉	第2工場2号炉	排出基準
測定位置	—	—	—	/
測定日	—	—	—	
測定結果が得られた日	—	—	—	
ダイオキシン類 (ng-TEQ / m <sup>3</sup> N)	—	—	—	1

※1 日平均値の測定期間における平均値です。

※2 ガス中の酸素が12%の状態に換算した値です。

## 1. 最終処分場について

場所	廃棄物の種類	埋立量 (m <sup>3</sup> )	埋立開始日	埋立終了日
北東側	集塵灰固化物	11,884	昭和55年4月1日	昭和58年3月28日
北西側	集塵灰固化物	39,938	昭和58年3月27日	平成11年7月30日

## 2. 施設の点検結果

		点検対象施設			
		擁壁等	覆土	側溝	看板等
点検日		令和5年5月30日	令和5年5月30日	令和5年5月30日	令和5年5月30日
点検方法		目視	目視	目視	目視
点検結果 (異常の有無)		無	無	無	無
必要な措置を講じた日と内容	日付け				
	内容	無	無	無	無

## 3. 水質検査結果

測定頻度：周辺地下水：1月1回（全項目は年1回）

：点検井戸：3月1回（全項目は年2回）

採水箇所		周辺地下水	
		3号井戸	5号井戸
電気伝導率	mS/m	22.0	21.2
塩化物イオン濃度	mg/L	14	15
採水日		令和5年5月8日	令和5年5月8日
報告日（検査結果の得られた日）		令和5年5月24日	令和5年5月24日